



こほく台

地区社協だより

第59号

発行日 平成26年12月5日

編集・発行

湖北台地区社会福祉協議会

広報部会

〒270-1132 湖北台3-1-1

電話 (04) 7188-1410

第12回「敬老お楽しみ会」東小で開催

今年の「敬老お楽しみ会」は、10月20日(月)会場を湖北台東小学校体育館(西小体育館耐震工事中のため)に変更し盛大に開催されました。例年徒歩参加の方が送迎バスを利用し、乗物利用参加の方が徒歩でと参加方法が変わった方が多く、又、東小を訪れるのが初めてという方も散見され「きれいな体育館ネ」との声も聞かれました。お楽しみ会は、主催者のあいさつのと埼玉県越谷市の民謡グループ《彩の風》5人により「民謡と津軽三味線による世界のメロデー」の演奏が、グループ代表のユーモラスな司会で始まりました。国内ばかりでなくニューヨーク市のカーネギーホールなどでの演奏実績を誇るだけに、軽快なリズムと声量豊かな民謡はすばらしく会場の人々を魅了させました。来賓の星野我孫子市長、鈴木市社会福祉協議会長のご祝辞、我孫子警察署員による交通事故防止・振込め詐欺予防の啓蒙話などをはさんで1時間半を越えて十二分に堪能させてくれました。このあとの「こどもとのふれあい」では、東小1・2年生全員によるダンスと合唱も元気いっぱい、生気を分けて頂きました。また、ひとり一人に手書きのお手紙を頂き感激しました。(東小1・2年生のみなさんありがとう!!) 楽しみの昼食会・今年もことのほかおいしく頂きました。恒例の「みんなで歌おう」、鈴木地区社協会長のピアノ伴奏で大きな声で童謡・唱歌を歌い、来年の再会を楽しみに、元気で長生きしようと思いをひとつにして終了しました。ご来賓の方々、特別参加の久遠苑デイホームのみなさん、地域活動支援センター「にじ」のみなさん、そしてご尽力いただいたボランティアのみなさん、ありがとうございました。



おてがみ、ありがとう



民謡と津軽三味線による世界のメロデー



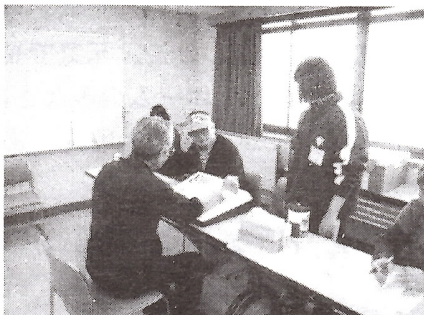
とびいり参加



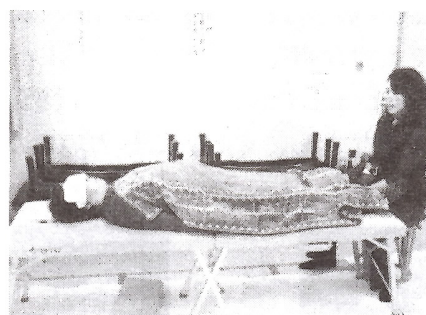
東小児童のダンス・合唱

第16回「湖北台健康まつり」開催

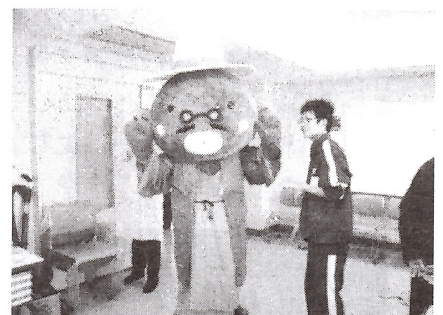
秋も深まった11月22日(土)、湖北台近隣センター全館をお借りして健康まつりが行われました。今回は湖北台中学校での開催ができず、近隣センターでの開催となりました。好天に恵まれ、ポカポカ陽気の中、例年どおり、体力測定・健康チェック・健康相談・介護相談・認知症予防体操・模擬店の出店が実施されました。早くから並んでお待ちいただいた参加者の皆様もいらっしゃいました。湖北台中学生によるボランティア協力も得られ、我孫子のゆるキャラ「うなぎちゃん」にも登場していただきました。また今回は「リラックス体験」のコーナーを新設し、山内様他2名のスタッフによる癒し術を体験していただき好評でした。会場の変更により、お楽しみ昼食会や台中吹奏楽は実施できませんでしたが、参加者の皆様の健康志向意識は高く「元気で長生き」を実践する方々が100名ほど来場してくださいました。中学生ボランティア、相談指導スタッフと交流して楽しんでいただけましたでしょうか?人気コーナーでは、待ち時間の間並んでいただいたり、1階、2階を行き来していただいたりのご協力ありがとうございました。湖北台近隣センターはじめ、湖北台中学校、保健センター、聖仁会病院、高齢者なんでも相談室、障害者福祉施設スタッフの皆様、ご協力ありがとうございました。「リラックス体験」のスタッフの皆様もていねいな施術を遅くまでやっていただき感謝申し上げます。来年もまた健康まつりで皆様とお会い出来ます様楽しみにしております。



骨健康測定



リラックス体験



人気者うなぎちゃん

静江さんと電話訪問

静江さんは生まれも育ちも湖北。湖北台地区社協が始めた電話訪問サービスを利用しはじめたころはひとり暮らし、その後娘さんと同居のため松戸へ引越された。引越後も週1回の電話訪問を希望され97歳の少し前まで電話をかけていました。娘さんから「母にとって電話訪問は心の支えでした」ボランティアの皆様にも優しくしていただき感謝申し上げます。とのメッセージが届きました。ひとりではなくみんなでつながっていききたいですね。電話訪問をご利用下さい。 問い合わせ 地区社協 04-7188-1410

年末・年始 のお知らせ

事務所 : 12月27日(土)～1月4日(日)

お休み処 : 12月28日(日)～1月4日(日)

電話訪問 : 12月27日(土)～1月4日(日)

お休みさせていただきます。

視察・研修会を実施しました

*福祉施設見学会 9月25日(木)

訪問先、久遠苑(日秀)・アクイール(岡発戸)・じょんから(布佐)・あずみ苑(柴崎)・そよ風(柴崎台)今年も25名の参加をいただいて5名1組で5施設を訪問しました。終了後湖北台市民センターで報告会を行いました。初めての参加の方も多く、活発な意見交換の場となり、皆様のご協力で大変有意義な研修会だったと思います、ありがとうございました。

どの施設でも入居者の方は明るく元気な挨拶を交わしてくれるなど、とても良い雰囲気を感じました。入居者の状態に対応して、さまざまに調理を工夫した食事の試食体験をはじめ、施設側の親身に対応に感謝申し上げます。特別養護老人ホームにおきましては、相変わらず多くの入居希望待機者がいる状況のようですが、昨年岡発戸にオープンしたアクイールに続いて27年4月には市内柴崎に100人規模の特別養護老人ホームが新規開設を予定されているようです。さらに来年度からは入居基準の改正<入居資格が原則要介護3以上の方>により、待機者の状況が多少でも緩和されることが期待される場所です。

*国際福祉機器展視察 10月3日(金)

東京ビックサイトに於いて第41回国際福祉機器展が開催され、30名のご参加をいただき福祉バスを利用して視察、研修会を行いました。

自動車メーカー及び各企業による目を見張るような介護関係商品の品揃え、介護ロボットの更なるレベルアップ、中小業者による多くのアイデア製品の数々を見てまいりました。中学生の課外授業の一環として、機器展を見学する学校もあり、福祉関連への関心の深さも感じました。

台中生向け認知症勉強会を行いました

11月5日(水)湖北・湖北台 布佐・新木地区高齢者なんでも相談室のご協力を頂いて、湖北台中学校3年生を対象にクラスごとに分かれて90分の「認知症サポーター養成講座」を実施しました。「中学生の皆さんが認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を見守り支える認知症サポーターになる、更に中学生の皆さんが地域社会の一員であることを自覚し、地域社会とのつながりの重要性を学習するための機会としたい」という趣旨で5



年前から開催しており、今回で累計受講者が700人を突破しました。

終了後全員に講習会修了証とオレンジリングを渡し、最後に皆さんからアンケートを含めて多くの前向きな感想を頂きました。生徒の皆さんありがとうございました。今後ぜひ日常生活の中で役立ててください。

市内の中学校でも同様の取り組みを検討していると聞いておりますが、当地区では早くから取り組んでおり、定着しているところです。今後も積極的に取り組んでいきたいと考えております。

市川きみ子さんのこころ遊びすび (湖北台七丁目在住)

湖北台の街中を自転車で軽やかに疾走されるきみ子さんのお姿は、湖北台団地が出来て以来の街の風物詩とさえなっている。きみさんはあっちに困った人がいれば又こっちに困った人がいればと「愛の手」をぶらさげて東奔西走と走り廻っている。まるで宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の世界である。もしきみ子さんのことを知らない人がいたら地域の福祉に関心をもってこなかったと思ってしまう。さてきみ子さんは長野県の上田市の出身。ご主人様が営団の職員で結婚された当時は東京の社宅にお住まい、社宅は世間が狭く、会社の上下関係など口さがなく子供達をのびのびと育てたいとの思いから湖北台へ越されてきた。湖北台団地の当初から現在に至る発展をつぶさに見てこられた。息子さんが小学校へ入学したころは児童が少なく入学式は教室で行われたとのこと。やがて子供が増えてきたことと働くお母さんが増えたことで公立保育園や放課後の学童クラブや保育園入園前の赤ちゃんの保育問題が次ぎ次ぎ起こってきた。母親が家で内職をコツコツしていた時代、きみ子さんもご主人が夜勤の日は一晩中手を動かされていたとの事。働くお母さんが増えてきた事

もあってきみ子さんは保育園や習い事のお子さんの送り迎えを長年された。今はファミリーサポート制度や学童クラブなど行政がしていることも整備されるまでには、多くのお母さんが力を注いでいた。きみ子さんの送り迎えには子供を持つ学校の先生方がどれほど助かったことであろうか。又団地自治会の役員を二十年間務めてこられた。その後シルバー人材センターに登録し、天王台の医院へ成田街道を自転車で二十年間通われた。さすが八十四歳になった今は週二回バスで通っている。きみ子さんの誠実な人柄とまじめな仕事ぶりが信頼されている何よりの証である。いつも優しく、観音菩薩のような方だ。嬉しい時には家でキューとジョッキをかたむける。「楽しい時こそ飲んで陽気な気分になります」。「くだぐだと愚痴を紛らわすようならしない飲み方はしたくありません」ときつぱり、堂々と人様の喜びごとに関わり細身の身体に似合わない豪快な魂の持ち主。爪の垢でも煎じて飲まなければ。時々駅前お休み処のボランティアもされている。お目にかかりたかったらどうぞ。(福)

ご寄付ありがとうございました。

古切手・使用済みカード・インクジェット・未使用切手・寄付金 (7,378円)
 海老原様・千葉信子様・藤田かよ子様・ウイング様・川原ちよ様・板倉憲一様・
 八丁目見守りの会様・細野陽一様・岳ユキ子様・池辺京子様・伊藤俊夫様・山崎様・
 湖北台近隣センター様・田中ミチ子様・石崎様・浮田様・市川富美子様・
 服部様・仁藤様・宍戸一治・嗟峨幸雄様・セブンイレブン湖北駅前店様・安藤様・
 ホリデーワン様・下藤明男様・松野様・前鶴八洲磨様・片桐様・竹内隼夫様

編集後記

今年も残りわずかとなりました。大きな自然災害が多かった年、皆様にとりましてはどんな一年でしたか。地区社協の行事に参加・ご協力ありがとうございました。どうぞ良いお年をお迎えください。